

2025年度 まちづくり助成事業

# みどりのひろば 成果報告書

地域の人々が、ゆるやかにつながる場をつくる

事業名： みどりのひろば

目的： 地域の人々が気軽に集い、世代や立場を越えてゆるやかに  
つながる場づくり。地域の「人・モノ・コト」を活かし、  
住民主体のイベントや交流の機会の企画・運営。

— 2025年度の取組み —

① 4月29日

第1回 みんなでつくる みどりのひろば  
@美土里支所 コミュニティ消防センター

② 11月3日

第2回 みんなでつくる みどりのひろば  
@北振興会館

③ 2月8日

つながりつながる あきたかたのひろば—まちづくり交流会—  
@マルシン クリスタルアーショ 小ホール、研修室402

④ 2月14日

ぶちええじゃんフェス 出店（防災ボトルづくり）  
@マルシン クリスタルアーショ 大ホール



第1回

## みんなでつくる みどりのひろば

2025年4月29日（火・祝）

@美土里支所 コミュニティ消防センター

本事業の原型となる「みんなでつくる みどりのひろば」  
は助成金採択前に自主開催として実施しました。  
小規模ながら、地域の方が気軽に集うひろばとして  
手応えを感じ、本助成事業とつながっています。

## 第2回 みんなでつくる みどりのひろば

### 実施報告書



ちらし

### どんなイベント？

開催日時 2025年11月3日（月・祝）10:30～15:00

会場 北振興会館（安芸高田市美土里町北）

来場者数 約150名

神楽の祭りも開催される舞台と屋根付き広場、元北小学校であったため広々としたグラウンドが整備された場所です。美土里町でも島根よりの北地区なので、なかなか来る機会のない場所。こんな場所があるんだ！と知ってもらいたいと思い、北振興会館で開催しました。



YURETA体験

### サブテーマは“防災”

イベント開催を通じて、参加者の防災意識に少しでも変化をもたらすことを目的に、サブテーマは「防災」として実施しました。当日は、安芸高田市の企業（スターライト工業(株)）及び北振興会のご協力により、簡易トイレや防災資料等の展示を行いました。また、広島市を拠点に防災士として活動されている『ひろしまゆらし隊』のお二人にご参加いただき、“地震の揺れ体験マットYURETA”を用いた体験を実施しました。

地震発生時に家庭内で起こり得る危険についての動画を視聴した後、実際にマットを使って揺れを体験し、参加した子どもたちは、揺れが起きた時の体勢について学びました。

実行委員ブースではもしもに備える『防災ボトルづくり』を実施。水筒として使うボトルに、携帯トイレ、ホイッスル、ライトなど…もしもの時に自分に必要なものを詰めてもらいました。



防災ボトルづくり



モルック大会

### やってみよう！ミニモルック大会

イベント開始の、10時30分より受付を開始しました。小学生から60代までの幅広い年齢層の方々、6チーム・計21名が参加しました。参加者の多くは「知ってはいたが初めて体験する」という方でしたが、終始楽しみながら取り組む様子が見られました。予選を勝ち抜いた2チームによる決勝戦を行い、最後は舞台上で表彰式を実施しました。賞品には、サブテーマである「防災」に関連した防災食を用意し、楽しみながら防災への関心を高める機会となりました。



フルーツ&ギター

### 癒しのミニコンサート♪

フルーツ&ピアノ、フルーツ&ギターの2部制で実施しました。優しい音色が会場に広がり、参加者が自然と足を止め、会場全体が落ち着いた癒しの空間へと変わっていきました。出店者さんが飛び入りで歌ってくださったりと、会場が一体となって音楽を楽しむ時間になりました。



出店者さん

### たくさんのお店者さんに感謝

第1回目もお店してくださった方をはじめ、フリーマーケット、子どものお店も含む、計12店が出店しました。イベント準備の段階から関わっていただき、出店者同士や実行委員とのあたたかなつながりが生まれたことに、深く感謝しています。

### 子どもたちも大活躍！

第1回目の開催から、子どもたち自身による出店が継続して行われています。今回も、自分で作った作品の販売や、ピースアクセサリー、万華鏡づくりのワークショップなどを実施してくれました。子どもたちはそれぞれ工夫しながら来場者と関わり、自ら考えて接客する姿が見られました。今後も、子どもたちが主体的に考え、挑戦できる場として、継続的な参加につながることを期待しています。



子どものお店

まちづくり助成事業

つながり つながる

# あきたかたのひろば

—まちづくり交流会—

## 実施報告書



ちらし



ゲストトーク



会場の様子

## どんなイベント？

開催日時 2026年2月8日（日）13:00～16:00

会場 マルシン クリスタルアージョ小ホール・研修室402

参加者数 42名（ゲスト、出店、実行委員含む）

『みんなでつくる みどりのひろば』の開催を通して、地域におけるつながりの大切さを改めて実感しました。そこで、他の助成団体や地域で活動する方々との横のつながりづくりを目的に、「まちづくり交流会」を開催しました。

共催 安芸高田市 政策企画課 協力 向原LOVERS

本事業の企画運営にあたり、ゲストの紹介、チラシの印刷および広報等にご協力いただきました。

## 第1部 話を聞いてみる。

広島市内で毎月マルシェイベントを開催し、八千代町にて市外の方を対象とした野菜収穫体験を行うなど、親子で楽しめるイベントづくりに取り組まれている『fab』の田尾さん、益光さんをゲストとしてお招きしました。当日は、活動内容の紹介に加え、集客や広報に関するノウハウについてお話いただきました。

現在の取り組みから今後の展望に至るまで、大変興味深いお話を伺うことができました。特に、集客においては事前の告知だけでなく、開催後にイベントの様子を発信することの重要性や、文字より写真、写真より動画の方が効果的であることなど、今後の活動に生かせる多くのヒントを得ることができました。

## 第2部 話して、つながる。

5～6名ずつ、8テーブルに分かれて少人数でのトークタイムを実施しました。各テーブルで進行役を中心に、自己紹介や現在の活動について意見交換を行いました。30分という時間でしたが、時間が足りないと感じるほど、活発な交流の場となりました。

当日は、まちづくり助成金の助成団体や、安芸高田市内で活動する方々に加え、修道大学で安芸高田市の魅力発信に取り組むプロジェクトの学生にも参加いただきました。閉会後のフリートークタイムにおいても、参加者同士の交流が続き、分野や世代を越えたつながりが生まれる機会となりました。



テーブルトーク



黒田課長より

## 『まちづくり助成金』について

政策企画課 黒田課長より、「まちづくり助成金」についての制度説明をしていただきました。

募集開始が翌日（2月9日）であったことから、参加者にとって制度理解を深める良い機会となり、今後の活動につながる有意義な時間となりました。

## コーヒーとお菓子でリラックス

地域おこし協力隊として活動し、コーヒー店も運営されている椎葉さんに、当日はコーヒーおよびゆず茶の提供をしていただきました。また、こめこのお菓子『CHAPPIE』のクッキーもあわせて提供しました。飲み物やお菓子を受け取る時間が、参加者同士の自然な交流のきっかけとなり、会場全体に和やかな雰囲気が生まれていたことが印象的でした。



椎葉やのコーヒー

## 参加者の声より

「交流できてよかった」「新たなつながりができた」「やってみたいが、やってみようになった」「活動の視野が広がった」など、前向きな意見が多く寄せられました。

これらの声から、まちづくりについて気軽に話せる場や、集まるきっかけ、継続的なつながりづくりの必要性を改めて実感する機会となりました。



実行委員会で

## —事業全体を通して—

本事業を通して、地域の中に「顔見知り」が増え、立場や年齢を超えたゆるやかなつながりが生まれました。

イベントへの出店だけでなく、講師の紹介や告知への協力、当日の運営サポートやアドバイスなど、自分たちだけでは実現できなかったことが、つながりによって形になっていく喜びを感じることができました。

やってみたいと思うことがあっても、1人では実現が難しく、金銭面でもハードルが生じます。私たちは、まず同世代の実行委員が集まったことが大きな力になったと感じています。また、クリスタルアージュでの交流会の実施は、まちづくり助成金および市の共催があったからこそ実現できた取り組みでした。

今後も、私たちのような市民団体が行政と協働しながら、地域のつながりを育み、まちづくりに取り組んでいければと考えています。

## —助成金があったからできたこと—

助成金により、イベント実施における会場設営や備品の準備、広報に取り組むことができ、より多くの方に安心して参加していただく機会を作ることができました。また、ゲストを招き、新しい交流の場づくりに挑戦できたことも大きな成果です。

イベント運営に必要な備品や消耗品だけでなく、講師を招いた企画や景品の用意など、参加者が金銭的な負担を感じることなく、学びや楽しみを得られる場を提供できたことも、助成金があったからこそ実現できたことだと感じています。

## —今後に向けて—

本事業をきっかけに、継続的な開催や、他地域・他団体との連携の可能性も見えてきました。美土里町でイベントとして始めた取り組みですが、安芸高田市全体で活動されている方々とつながる機会にもなりました。

今後も美土里町を拠点に、地域に根ざした活動として、無理のない形で継続していきたいと考えています。

